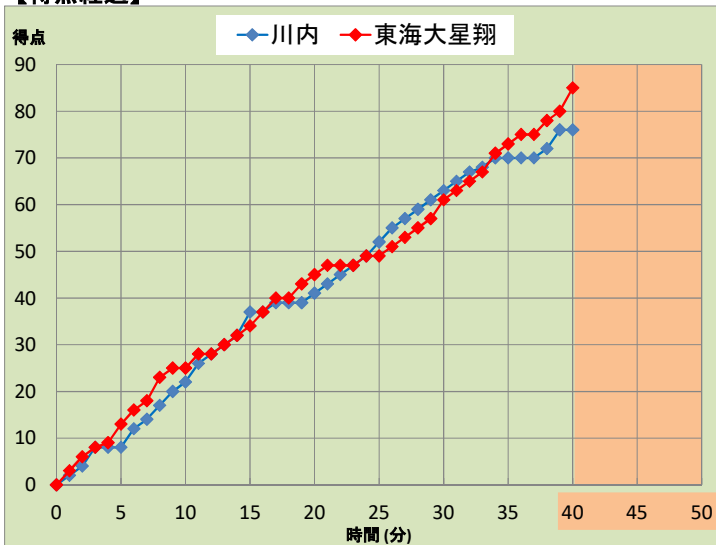


【得点経過】



会場	福岡市民体育館	
日時	平成29年6月24日 (土) 12:00	
コート	Bコート	第3試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	柿原 実	
副審	松本 欣明	

TEAM A

川内 76

鹿兒島1位

22	1st	25
19	2nd	20
22	3rd	16
13	4th	24

OT

TEAM B

85 東海大星翔

熊本2位

TEAM A			川内高等学校				
番号	選手名		得点	3P	2P	FT	反則
4	仮屋崎 元	◎	14		7		2
5	川 床 洋 人	○	7	1	2		2
6	野 口 侑 真	○	21	2	7	1	4
7	小 野 祐		0				
8	寺 本 直 也		0				
9	中 村 丞 偉	○	4		2		2
10	川 畑 颯太郎	○	14	3	2	1	3
11	新 留 誠 人		12		6		
12	永 谷 慧		2			2	
13	小 原 優 斗		2		1		
14	新 留 悠 太		0				
15	前 村 康 生		0				
コーチ	田 中 俊 一						
合 計			76	6	27	4	13

TEAM B		東海大星翔高等学校					
番号	選手名		得点	3P	2P	FT	反則
4	松 尾 侯 雅	◎	7		3	1	3
5	江 川 海		0				
6	石 井 智 大	○	38	6	7	6	1
7	佐 藤 拓 亮	○	4		2		2
8	趙 隆		0				
9	大 林 良 平		12		6		1
10	井手口 京 平	○	18	2	4	4	2
11	黒 木 佑 樹	○	2		1		2
12	中 山 莉 久		2		1		
13	藤 本 翼		2		1		
14	田 尻 啓 太		0				
15	東 李 成		0				
コーチ	本 郷 宏	／	／	／	／	／	
合 計			85	8	25	11	11

全九州大会1回戦、鹿児島県1位川内対熊本県2位東海大星翔との対戦、川内のスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#9、#10、東海大星翔は、#4、#6、#7、#10、#11で試合開始。第1P両チームともディフェンスはマンツーマンでスタート。最初のオフェンス、川内はナンバープレーからのタップシュートで先制、対して東海大星翔は3Pで対抗し、お互い最初のオフェンスで得点をする。両チームともディフェンスのハンドチェックの反則が目立ち、ディフェンスからのリズムが掴めない。先に流れを掴んだのは東海大星翔、インサイドにボールを集め、インサイドアウトの外角のシュートを決める。対する川内も#4を起点とし、ゴール下の得点と3Pで粘り強くついていき、22-25で東海大星翔リードで第1P終了。第2P川内はゾーンディフェンスに変えるが、東海大星翔#6の3P・ジャンプシュートでゾーンを攻略する。川内のオフェンスは#6の圧力あるゴール下のシュート、アウトサイドのシュートも決まり、前半残り5分で川内が逆転。しかし、残り2分、東海大星翔#6の前半5本目となる3Pで再度逆転し、41-45東海大星翔4点リードで前半終了。第3P、東海大星翔はタイトなディフェンスでリズムを変えようとするが、川内は果敢にシュートまでもっていき得点を重ねる。川内はボックスフンのディフェンスで東海大星翔#6を止めようとするが、#7#10のアウトサイドも決まり始め、絞りにくい状態が続く。しかし、残り5分川内は#6の1対1が冴え始め逆転。63-61川内の2点リードで第3P終了。第4Pはディフェンスでお互いのエースを封じ、得点が決まらず膠着状態が続く。残り4分から東海大星翔のエース#6が自らスコアし、またアシストをすることで周りを活かし始め、徐々に点差が開いていく。#7のアウトサイドシュートが決まり、残り50秒8点差、最後はファールゲームにもっていったが、東海大星翔が逃げ切り85-76で勝利。

【戦評記載者】 貞包 謙
福岡県バスケットボール協会